|  |
| --- |
| **車両ナンバー** |
|  |

**バス・タクシー**

感染防止対策基本チェックシート

PROJECT CCC　SUSONO

|  |
| --- |
| **１．マスク着用・手洗い・消毒（飛沫・接触予防）** |
| □　従業員と施設利用者のマスク着用の周知を徹底している。 |
| □　共用する備品について、都度の消毒や個別包装等による衛生管理を実行している。 |
| □　ウイルス、菌の不活化に有効な消毒備品を整備し、従業員・利用者の手指消毒の実施に努めている。 |

|  |
| --- |
| **２．施設、空間の除菌・消毒・換気の実施** |
| □　利用者が触れる、また接触する可能性のある場所は、こまめに清掃・除菌・消毒を実施している。 |
| □　施設内での密内環境（３密）が想定される場合は、窓や入り口を開放し定期的に換気を行っている。 |
| □　使用済みマスクや、消毒清掃後のごみ等はビニールゴミ袋で回収し、清掃者はその業務後の手洗い消毒を徹底している。 |

|  |
| --- |
| **３．ソーシャルディスタンスの導入** |
| □　利用者が入店、滞在時の混雑を回避するための案内(システム)や目印による表示などを実施している。 |
| □　テーブル椅子の配置は対人間隔を確保した空間でデザインしている。 |
| □　対面による飛沫感染が想定される場所には、感染予防シートなどによる策を講じて対応している。 |

|  |
| --- |
| **４．利用者、従業員の健康・体調管理** |
| □　利用者が高熱または著しく体調がすぐれない場合、入店入場を自粛して頂くよう取り組んでいる。 |
| □　従業員は出勤前に検温と健康管理を行い、現場責任者に毎日報告している。 |
| □　従業員の健康管理は所定の確認シートを用い記録し、また２週間保存している。 |
| □　発熱、体調不良の従業員に対し、自宅待機や帰宅指示を行っている。 |
| □　従業員は日常的に感染予防の対策を意識し、常に対策情報の学習及び共有に努めている。 |

|  |
| --- |
| **５．業種ごとの個別チェック項目　※独自の取り組みによる実施内容** |
| □　予約時に密を避ける対応として、乗車人数は出来るだけ少人数でご利用頂けるようお願いしている。 |
| □　運行中は、可能な限り複数の窓を開けるなどして、常に車内の換気に努めている。 |
| □　利用者の乗車前には、ドアノブや窓の開閉スイッチ、シート、キャッシュトレー、その他接触の可能性がある場所を必ず清掃、消毒をしている。 |
| □　料金精算時の代金（カード）の受け渡しには手袋を着用し、キャッシュトレーの使用を徹底している。 |
| □　実車中は利用者、ドライバーともマスクの着用を徹底している。 |
| □　車内に手指用の除菌・消毒スプレー等を常時用意している。 |
| □　運行実施前、実施後は必ず車両内外（トランクルーム含む）清掃、消毒を行っている。 |
| □ |
| □ |
| □　上記以外に、業界団体のガイドラインを参考にし、感染防止対策の取り組みを実践している。 |